

授業科目

介護総合演習IV

担当教員名 岡田 史、白野 絹子	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期b・後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会などによって、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。介護総合演習については、実習と組み合わせての学習とする。

授業の目的

- 1) 介護実習ICの事後指導及び介護実習IIの事前指導の科目である。介護施設の業務の内容を理解するばかりではなく、科学的思考に基づいて介護を提供することができていたのかを、介護のプロセスを検証し次回の介護実習に備える。
- 2) 実習遂行に必要な知識や技術を確認し、実習において介護過程の展開を行なえるような力量を身につける。

学習目標

- 1) 介護実習IIに向けての心構えが確立する
- 2) 利用者の課題を明確にするための介護計画の作成、実施後の計画を踏まえた修正といった介護過程が展開できる
- 3) 他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの基本となる実践力を習得する
- 4) 介護過程の実践をプレゼンテーションができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	実習後指導－実習内容の振り返り	演習	岡田 史、白野絹子 他
2	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめる。	演習	岡田 史、白野絹子 他
3	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめる。	演習	岡田 史、白野絹子 他
4	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめる。	パワーポイント作成	岡田 史、白野絹子 他
5	実習後指導－実習において実践した内容に焦点をあてて、検討課題を見つけて分析しまとめたものを発表する。	プレゼンテーション	岡田 史、白野絹子 他
6	実習後指導－実習記録の返却（担当教員の講評を添えて返却する）	個別面談	岡田 史、白野絹子 他
7	実習前指導－介護実習?で学ぶこと、実践することを介護実習の手引きをもとにして確認する。	演習	岡田 史、白野絹子 他
8	実習前指導－実習目標と課題の記述及び個人票に必要事項を記入する。実習配属先を発表する。	個人演習	岡田 史、白野絹子 他
9	実習前指導－利用者とのコミュニケーション－基本的な礼儀のあり方についてロールプレイングを行う。	演習	白野 絹子、岡田史 他
10	実習前指導－認知症について基本的な知識と対応について学ぶ。	演習	白野 絹子、岡田史 他
11	実習前指導－感染症について学ぶ。	演習	白野 絹子、岡田史 他
12	実習前指導－実習時のカンファレンスの進行方法について学ぶ	DND視聴、カンファレンスの演習	岡田 史、白野絹子 他
13	実習前指導－実習時のカンファレンスの進行方法について学ぶ	DND視聴、カンファレンスの演習	岡田 史、白野絹子 他
14	介護実習IIにおいて学びたいことや期待していること、また不安を感じていることをまとめる。	演習	岡田 史、白野絹子 他

15	決意表明グループでまとめたことを発表する。巡回指導担当の教員と面接を行う	プレゼンテーション、面接	岡田 史、白野絹子 他
----	--------------------------------------	--------------	-------------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート・課題提出

履修上の留意点

実習前後の連絡事項の多い授業ですので、授業の連絡事項はしっかりと聞いてください。

オフィスアワー・連絡先

相談や質問がある場合は毎週水曜日2限E304にいらしてください。
 連絡先 岡田 fumi-o@nuhw.ac.jp 白野 shirono@nuhw.ac.jp